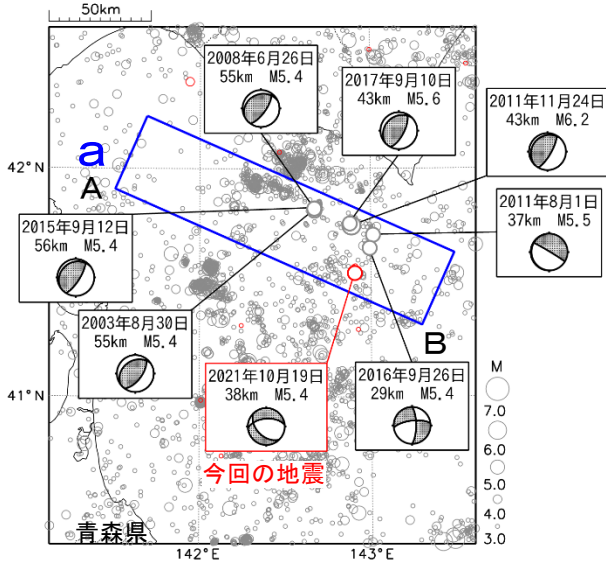


10月19日 青森県東方沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2021年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2021年10月に発生した地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解



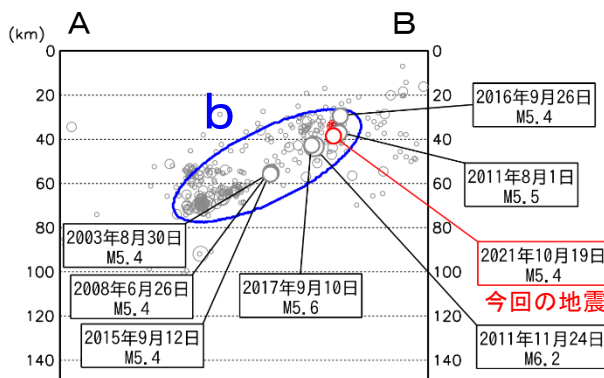
2021年10月19日21時36分に青森県東方沖の深さ38kmで $M 5.4$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北北東-南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

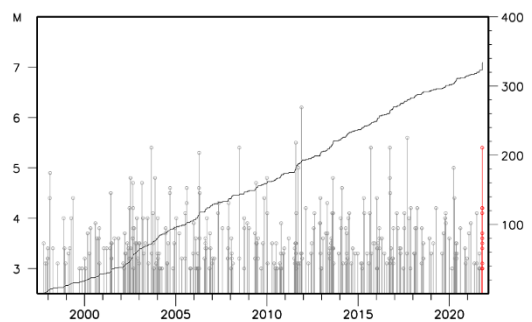
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、1968年5月16日に発生した $M 7.5$ の地震は、「1968年十勝沖地震」($M 7.9$ 、最大震度5)の最大余震である。

「1968年十勝沖地震」では、青森県八戸[火力発電所]で295cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。また、領域c内では他に、「昭和57年(1982年)浦河沖地震」($M 7.1$ 、最大震度6)が発生している。

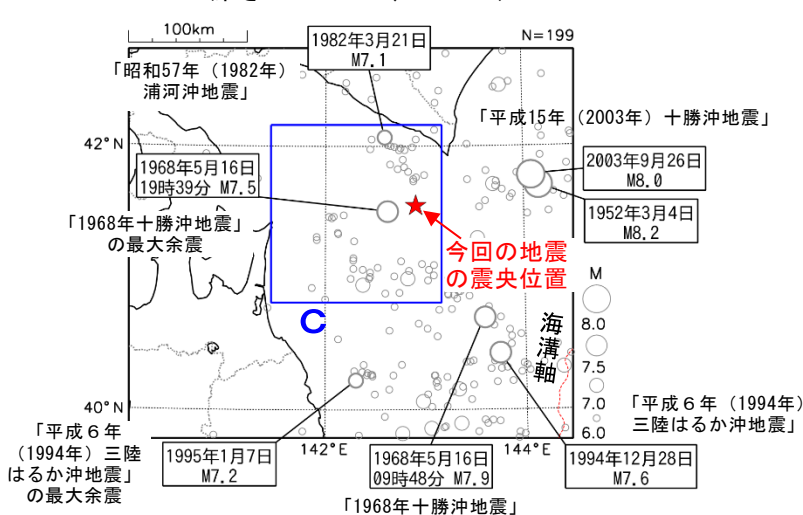
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2021年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

